



MacBook Pro 15" Touch Bar Late 2017下部ケースの交換

別名下部ケースと呼ばれるボトムカバーを取り外すには、このガイドを参照してください。...

作成者: Jeff Suovanen



はじめに

別名下部ケースと呼ばれるボトムカバーを取り外すには、このガイドを参照してください。

この作業を進める前に、バッテリーの残量を25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーは引火の原因となったり、アクシデントで穴を開けてしまうと爆発の恐れがあります。

ツール:

[P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\) \(1\)](#)

[ハンドル付き吸盤 \(1\)](#)

[iFixit開口用ピック\(6枚セット\) \(1\)](#)

部品:

[MacBook Pro 15" Retina \(Late 2016-2019\) Lower Case \(1\)](#)

手順 1 — Auto Bootを無効化する



- ① この手順を開始する前に、Macの自動起動機能を無効にする必要があります。蓋を開くと、Macの自動起動によって分解中に誤って起動される場合があります。 [この手順に従う](#)か、以下の簡略化された指示に従って自動起動を無効にします。このコマンドは全てのMacに応答するわけではありません。
- Macを起動し、ターミナルを開きます。
 - 以下のコマンドをターミナルにコピー(または正確にタイプ)します。
 - **sudo nvram AutoBoot=%00**
 - **[return]**キーを押します。パスワードを求められたら、管理者パスワードを入力し、**[return]**キーを再度押します。補足: **[return]**キーは **↵** や "enter" として印字されている場合もあります。
- ② これで、誤って電源が入ることなく、安全にMacの電源を切り、底面カバーを開くことができます。
- ☑ 修理が完了し、完全に組み上げられた際には、以下のコマンドで再度自動起動を有効化してください。
- **sudo nvram AutoBoot=%03**

手順 2 — 下部ケース



⚠ MacBook Proの電源を完全に切って、接続を外します。

- ディスプレイを閉じて、ラップトップを裏返します。
- P5ペンタローブドライバーを使って、次の長さのネジを、下部ケースから外します。
 - 4.7 mmネジ—4本
 - 6.6 mmネジ—2本

★ これらのネジを外す際に、ネジの方向を書き留めておきましょう。ある決められた角度でインストールしなければならないネジがあります。

★ この作業では、各ネジの装着位置を書き留めておきましょう。デバイスのダメージを防ぐため、組み立ての際は、本来の位置に取り付けてください。

手順 3



- 吸盤ハンドルを両ネジ穴の間の下部ケースのフロント側端付近に装着します。
- 吸盤ハンドルを引き上げて、下部ケースの下に小さな隙間を作ります。

手順 4



- 下部ケースの下に出来た開口ピックの先端を隙間に差し込みます。
- 開口ピックを一番近い角の周辺までスライドしてから、MacBook Pro側面の半分上まで移動します。
- ① 下部ケースを固定している隠れたクリップの一番目を外します。クリップがカチッと音がして外れる感覚があります。

手順 5



- 反対側も同じ作業を繰り返します。開口ピックで2番目のクリップを外します。

手順 6



- 下部ケースの正面側端を持ち上げて(ディスプレイヒンジと反対側)、指先が入るぐらいまでスライドしてあげて、先端を掴みます。
- ① 2つの隠れたクリップが、カバーの中央部分に付いています。まだ外れていない場合は、この時点でカチッと音がしてクリップが外れるはずです。

⚠ 持ち上げすぎないでください。そして、まだ下部ケースを外さないでください。

手順 7

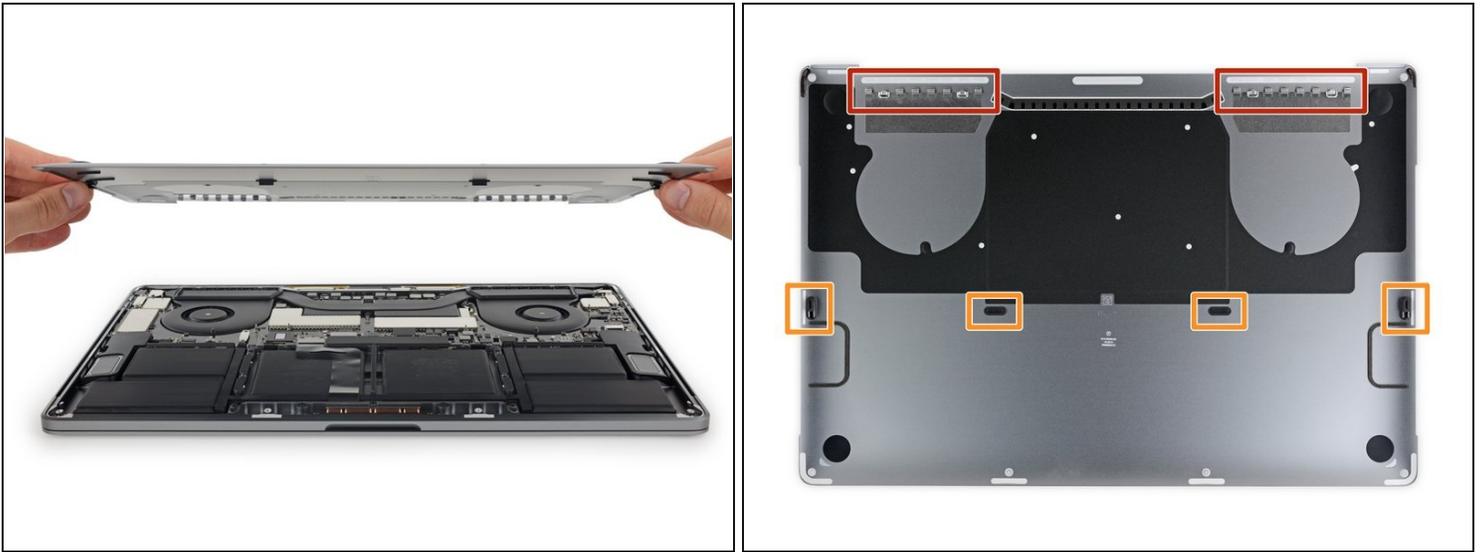


- 下部ケースをしっかりとMacBookのフロント側に向けて引っ張り(ヒンジエリアから離します)、下部ケースを固定している最後のクリップを外します。
- 一方のコーナーから引っ張り、その後で次のコーナーを引っ張ります。

⚠ 水平に引いてください。上に向けて引かないでください。

ⓘ この作業にはかなりの力が必要です。

手順 8



- 下部ケースを外します。
- ☑ 下部ケースを再インストールする方法：
 - [所定の位置に合わせて](#)、スライドヒンジをディスプレイヒンジ付近のクリップをスライドしてクリップを装着位置に揃えます。カバーを押し下げて、ヒンジ側にスライドさせます。クリップが揃ったらこれ以上スライドしません。
 - クリップが完全に装着して、下部ケースが正しく配置されているようであれば、下部ケースをしっかりと押し下げて、隠れた4つのクリップを留めます。所定の位置にカチッと音がしたら、装着されています。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシューティングのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。